

企業経営をトータルサポートする

長野法人会報

June 2009

6



経営者シリーズ ● トップかく語りき

Mitsugi Obinata

大日方 貢氏

株式会社トゥルーカラーズ
代表取締役



株式会社トゥルーカラーズ
長野市大字若槻団地1-129
TEL 026-241-6936 FAX 026-241-6945
創業 昭和50年2月
資本金 1,000万円

社内で回覧しましょう!

毎日楽しく仕事ができれば、結果はついてくる。

「今度は何を持っててくれるのだろうと、お客様が楽しみにしてくれている。ぼくが提案する商品はファッショング度が良いと思ってもらえることがやりがいです」

父親が創業した洋品卸会社の社長に9年前に就任。それまでのメンズ専門から、レディースや輸入ブランド小物、ヤング向け、ジーンズなど商品カテゴリーを増やすとともに、卸先(小売店)も甲信越、北陸、関東、東北と広げてきた。今年創業35年を迎えるのを期に、それまでの「モリチョウ」から「トゥルーカラーズ」に社名変更。新たにネットショッピングもスタートした。

大日方貢社長は「とにかく仕事が楽しい」と目を輝かせる。「月の半分は自分で開拓した東北6県を中心

に顧客を回ります。この出張も楽しいし、発注した商品を検品するのも楽しい。こういう経済状況ですから、憂うつに思うことや嫌なことも少なくありません。でも好きな仕事ですから、本当に楽しいんです」。

「長野、というだけでハンデがある」ファッショング世界。だからこそ人ととのつながりを大切にし、流行の“目利き”として顧客の期待に応える努力は怠らない。「ファッショングセンスと時代をとらえる感覚があれば、長野も東京も同じ」。企画から生地選びまで独自に行う、専門店向けオリジナル商品の開発でも高い評価を得ているという。

一方、「ご当地ネクタイ」の提案でも実績を重ねている。長野ではNHK大河ドラマ「風林火山」や、飯山の菜

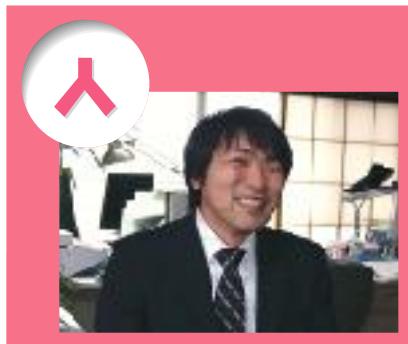
の花まつりにちなんだオリジナル商品を顧客小売店に提案。また岩手県では「宮沢賢治」、青森県ではカーリングの「チーム青森」にちなんだネクタイが、それぞれ地元で大きな反響を呼んだという。

「マスコミが取材に来るなど話題になるから、ぜひ頑張ってやってみましょうとお客様に提案したんです。リスクも大きいけれど、地域で評判になればお客様も喜ぶし、ぼくもやり甲斐がある。こんな厳しい経済状況だからこそ、お客様には元気になっていただきたい。そのために今後も積極的に提案していくと考えているんです」

「毎日楽しく生きがいをもって仕事ができれば、結果は後からついてくる」
一大日方社長の信念だ。

回覧

シリーズ | 人 | 企業 | サービス |



静かに闘志を燃やす、若き経営者

(有)アイ・エンドレスサービス取締役社長
畠山 昇さん

モップ等のレンタルやクリーニングサービスでおなじみのダスキンの代理店を経営する畠山昇社長。亡くなった父の跡を継いで平成20年2月、28歳で社長に就任した。会社を切り盛りしながら自ら積極的に営業に出かける、忙しい毎日だ。

畠山社長は横浜市出身。オリンピック開催を控えて活気づく長野市の市場に注目した先代社長が平成9年2月、ここを創業の地に選んだのだ。

「長野は私にとって初めての地。まずお客様に顔を覚えてもらおうと必死でした」と当時を振り返る。「お客様にサービスを理解していただかないと本当の満足にはつながらない。密なコミュニケーションが何より大切」と信じ、足しげく客先に通ううちに顧客も増えた。「お客様と喜びを共有できることが何よりも嬉しいんです」と笑顔で語る畠山社長。顧客と向き合い、心からのサービスを提供しようとする真っすぐな姿勢が評判だ。

さらに未来を展望し、フードビジネスにも興味があるという。「もっと幅広い年代に利用してもらえるサービスを展開したい」とさらなるビジネス展開に意欲を燃やす。



おいしい水プラス+(ハイパーカートリッジ)
残留塩素はもちろん家庭用品品質表示法の対象物質13項目を徹底除去。

ダスキンアイ・エンドレスサービス

長野市大字北尾張部246番地1号
TEL 0120-63-5371 FAX (026) 263-5223



木つ端に命を吹き込む

宮原工業

官公庁用の木製家具を中心に製作してきた宮原工業は昭和16年創業。古くは電電公社の電話機の木箱や、戦時中には戦闘機の木製燃料タンクを製造していたという歴史を持つ。

職人気質で営業は苦手という2代目の宮原直正社長は木のプロフェッショナル。外から見ただけで木の価値がわかる。良い木に出会うと営林署や製材所からだけでなく、落雷で倒れた木などをもらい受けたりもしてきたという。

後継者がなく、将来廃業後、集めた銘木たちを薪にされてしまうのは忍びないと、木片を削りだして花瓶を作る。設計図もなくフリーハンドで仕上げた、まさに匠の技の結晶。その出来映えが評判を呼び、贈答用などの依頼がくるようになった。「木の種類によって、使う部位によって、木目の出方も違ってくる。同じものは2つとしてないんです」。宮原社長の説明には熱が入る。

「でも商売っ気がないから困っちゃうんですよねえ」。製作の際に出た木つ端を、さらに大事にとっておくという奥様が横で笑う。本当に木を愛するご夫妻はもう次の作品も考案中だ。



奥様の壁飾り、娘さんの陶器と、家族で作品展ができるそうだ

宮原工業有限会社

長野市南保2530
TEL (026) 226-4343 FAX (026) 226-1838



こだわりの食材に真心こめて

安心・安全の自然食

1個10円、ひと口サイズのまんじゅうが評判の「夢まんじゅう かなえ」。長野駅前と南長池の店には行列ができるほどの人気だ。安さとおいしさだけでなく、国産原材料にとことんこだわった“安全・安心”的製品づくりへの信頼感がその秘密。

経営するミールケアは、医療・福祉施設などへの受託給食サービス事業を主に展開し、食を通じて地域の健康づくりへの貢献を目指す企業。7年前いち早く「ロハス」の考え方を取り入れ、信州産のオーガニック野菜や無添加のだしを使用した野菜中心の自然食を提供してきた。県内外で展開する保育園・幼稚園給食では「子どもの好き嫌いがなくなった」「風邪をひきにくくなかった」と好評だ。長野市内のビュッフェスタイルの自然食レストラン「みーるマ～マ」も連日賑わいを見せる。

「良いと思ったらまずやってみるのがポリシー。お客様に喜んでいただけるサービスを社員みんなで作り上げていきたい」と関幸博社長。食の安全への関心がますます高まるなか、より安心・安全で楽しい食の提供に意欲を燃やしている。



株式会社ミールケア

長野市栗田8-1
TEL (026) 269-8800 FAX (026) 269-8813